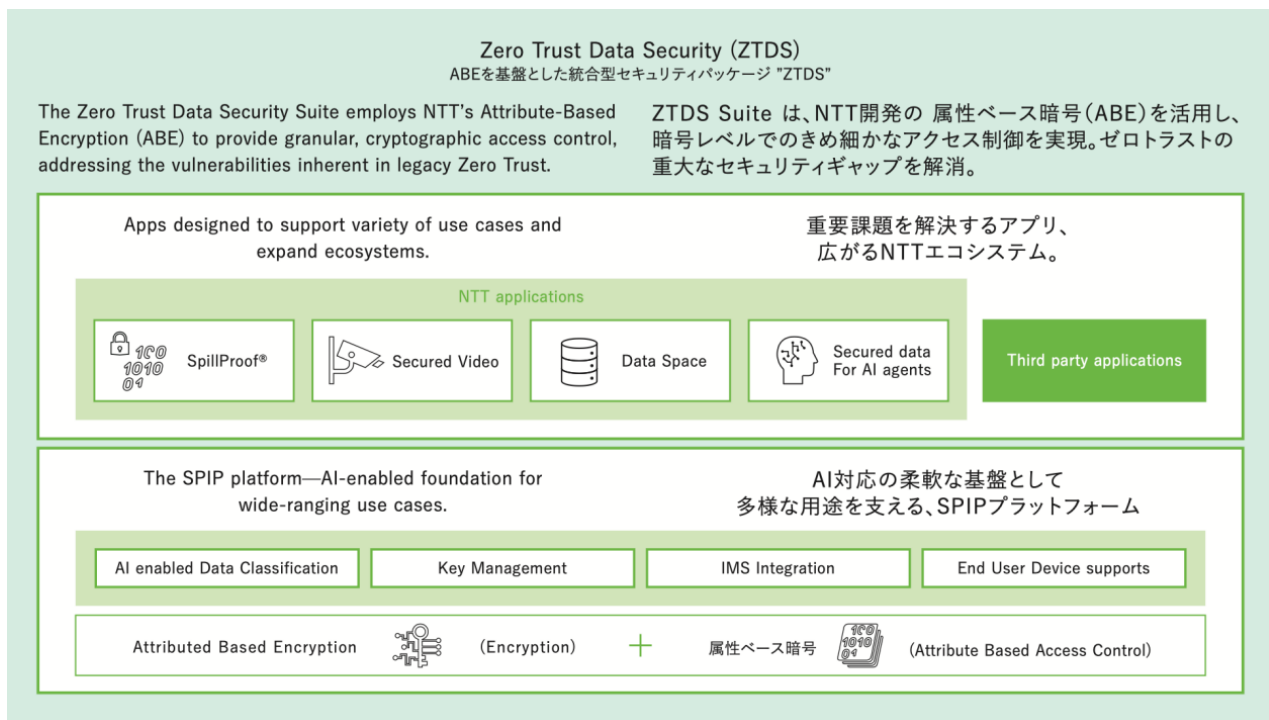


ABEと生成AIで文書ごとに柔軟な閲覧制御を実現し、安全な情報共有を可能にする

Zero Trust Data Security (ZTDS)

背景 – 技術課題

- 従来の暗号はall or nothingで、権限に応じたアクセス制御が難しいため、機密性維持が困難
- データ識別と分類は手作業中心で負担が大きく、効果的な拡張が難しいという課題があった



研究目標 – 成果

データ保護の重要性が高まる中、漏洩リスクなどの深刻な課題を有しています。AIの普及でデータ価値が増す一方、従来技術では対応困難であり、新たな対策が求められています。

技術ポイント

01 要素技術

文書ツールを利用者権限に応じ文書中の情報開示の制御機能を提供。属性ベース暗号化技術ABEとAIによるデータ分類を組み合わせ、効率的に保護識別し、権限に応じた情報開示をデモで紹介

02 市中技術差異点

属性ベースのアクセス制御はクラウドベースシステムが一般的だが外部転送されると保護機能を失う。ABEはデータにポリシーを埋込、一貫した保護を実現。情報の開示制御を制御しつつデータをクラウド外へ流通可能

利用シーン 情報技術

R&Dフェーズ ビジネス展開

技術確立予定時期 FY25-26

ビジネス化予定時期 未定

【出展企業】
NTT Research, Inc.

【共同出展社/社外連携先】

【問い合わせ先】
NTT Research, Inc.

【関連Link】